



CHINA

11月19日(月)

■APEC首脳宣言を断念

米中、激しく対立

APEC首脳会議が、パブリックニアで閉幕した。米中が互いの通商政策をめぐり激しく対立。首脳宣言採択を断念する異例の結果となった。パブリックニアが議長声明を出す。(2面)

■製造業-中国生産見直し

米中摩擦-APEC直撃

APEC首脳宣言を断念した。米国は、対中制裁を一段と強化する恐れ。日本企業の間では中国生産を他国に移管する動きが広がっているが、さらなる対応に迫られそうだ。(1面)

■NSKワーナー、中国増産

AT部品2倍

日本精工と米ボルグワーナーの折半出資会社・NSKワーナーは、中国で自動变速機部品を生産する新棟を建設する。生産能力を約2倍に高める。中国向けを増やす。(1面)

11月20日(火)

■中国に車載電池工場

オートモーティブESC

オートモーティブエナジーサプライが、中国で車載用リチウムイオン電池の工場を建設する計画。同社を買収する中国エンビジョングループが主導、年2ギガワット程度の生産能力。(1面)

11月21日(水)

■牧野フライス、中国新工場

放電加工機4倍

牧野フライス製作所は、上海近郊・崑山市の生産拠点に新工場を建てる。自動車の金型や部品などを製造する放電加工機の月産能力を2021年度に4倍の180台に増やす。(1面)

■ETC車載器-4カ国語案内

古野電気/訪日客レンタカー増

古野電気は、4カ国語(日本語、英語、中国語、韓国語)切り替えの機能が付いたETC車載器を発売する。訪日外国人旅行者の増加でレンタカーやリース車の利用が急増。(6面)

11月22日(木)

■兼房、コールドソー3割増産

中国/インドネシア

兼房は、中国とインドネシアの工場で金属加工用丸鋸(コールドソー)を3割増産する。自動車部品の棒材や管材の加工用。バンドソーやメタルソーからの切り替え需要に対応。(7面)



1日、ブエノスアイレスで会談に臨んだ米国のトランプ大統領(右端)と中国の習近平国家主席(左端)(AFP時事)=5日付

11月23日(金)

■中国AI-62%成長340億元

画像認識・DCに巨額補助金

中国のAI関連2018年市場は前年比61.9%増の340億元と予測。中国政府は音声認識、画像認識などの技術やデータセンターなどにも巨額な補助金。富士キメラ総研調べ。(4面)

11月26日(月)

■4次規制対応大型ディーゼル

クボタ/産機・建機用

クボタは、中国向けに出力100キロワット超の産業機械や建設機械用の大型ディーゼルエンジンを開発した。埠製造所で量産する。中国では2020年にディーゼル排ガス4次規制が施行。(7面)

11月28日(水)

■エイズ免疫持つ赤ちゃん誕生

遺伝子組み換え/122人が非難

中国の科学者が、遺伝子組み換え技術で生まれながらにエイズウイルスに免疫を持つ赤ちゃんを世界で初めて誕生させた。国内外の中国人科学者122人が連名で非難声明。(27面)

■中国新車10月、4社マイナス

マツダ・三菱・スバル/2ヶタ減

日系自動車6社の中国の10月の新車

日系自動車メーカー 中国新車販売(10月)	
社名	台数
日 産	142,078(▼5.5)
ホ ン ダ	138,666(3.1)
ト ヨ タ	134,600(19.5)
マ ツ ダ	21,881(▼25.3)
三 菱 自	11,234(▼16.4)
SUBARU	1,990(▼19.7)
単位台。カッコ内は前年同月比増減率%、▼はマイナス	

販売は、トヨタ自動車とホンダを除く4社がマイナス。中国市場全体が減速傾向。マツダ、三菱自動車、SUBARUは2ヶタの落ち込み。(7面)

11月29日(木)

■東海理化、中国に新会社

スイッチ/地場メーカー

東海理化は、中国に全額出資の新会社を設立した。地場の自動車メーカーに主力のスイッチ類の提案を強化する。電動化や自動運転の先端ニーズを取り入れる。(6面)

11月30日(金)

■ニイタカ、江蘇省に新工場

固形燃料/食器洗浄剤

ニイタカは、固形燃料や食器洗浄機用洗浄剤などを生産する新工場を江蘇省で立ちあげる。中国2拠点目。福建省工場が手狭になり、新工場の建設により増産対応する。(14面)

■新潟県産米-中国が解禁

7年ぶり/規制緩和の追い風

農林水産省は、中国政府が福島第一原発事故後から行っている新潟県産米に対する輸入停止措置を解除したと発表。7年ぶり再開。福島など9都県の規制緩和の追い風に。(37面)

12月3日(月)

■米中一貿易摩擦「90日停戦」

ハイテク・南シナ海に火種

米中首脳会談が、アルゼンチンで開かれ、米国が2019年1月以降の中国への追加関税を一時凍結、90日の協議継続で合意した。ハイテク産業の覇権争いや南シナ海に火種。(1面)

■ゲノム編集ベビーに倫理問題

日本ゲノム編集学会

日本ゲノム編集学会は、中国の研究グループがゲノム編集を施した受精卵

12月5日(水)

■中国、136兆円輸入拡大

米国、休戦2月まで

米国は、対中協議の交渉期限を2019年2月末と表明。中国は1兆2000億ドル(約136兆円)を超える米国産品の輸入拡大。強硬派ライハイザー通商代表部代表が責任者に。(5面)

■特許出願-中国、7年連続首位

世界4割/2位米国・3位日本

2017年の特許出願件数は、中国が138万1594件で7年連続首位。世界の約4割。世界全体の出願は316万8900件。2位は米国60万6956件、3位は日本31万8479件。(5面)

12月6日(木)

■米中決裂-追加関税拡大を示唆

米大統領

トランプ米大統領は、ツイッターに「私はタリフマン(関税の男)だ」と書き込み、中国との協議が決裂すれば、対中追加関税を拡大することを示唆した。(5面)

12月7日(金)

■ファーウェイ副会長逮捕

イラン制裁違反の疑い

カナダ司法当局は、中国通信機器大手ファーウェイ孟晚舟・副会長兼CFOを逮捕した。イランへの制裁違反の疑いで捜査している米国当局の要請。(5面)

*11日保釈

トランプ米大統領は、ツイッターに「私はタリフマン(関税の男)だ」と書き込み、中国との協議が決裂すれば、対中追加関税を拡大することを示唆した。(5面)

12月8日(土)

■トヨタ、パナ製電池を採用

中国向けEV

トヨタ自動車は、2020年に中国で発売するEVに、パナソニックのリチウムイオン電池を採用する方針を固めた。両社は車載用角形電池事業で新たな協業を検討。(1面)

12月9日(日)

■電磁環境測定設備、中国製販売

東陽テクニカ

日機装、中国の体制刷新産業用ポンプ/販売・保守(22日7面)

■排気後処理装置、中国で生産

英エミノックス(23日8面)

■北越、感熱紙を中国生産年6億m/上海敦普と合弁(23日10面)

■丸紅、溶融硫黄を長期供給

湖北祥云向け(23日11面)

■中国でITビル管理

日立/現地仕様(27日10面)

■中国向け輸出債権保証で新商品

伊藤忠など(28日17面)

■サブリ、中国で攻勢

ファンケル(28日17面)

■自動搬送ロボで日本進出

中国ハイクビジョン(4日8面)

■プリンスホテル、広州に最上級

療養・医療関係者(4日15面)

■中国流行語大賞「運命共同体」

習主席外交方針(時事=5日5面)

■中国スタートアップ企業支援

みずほ銀/深圳清華大研究院(6日23面)

ベトナムの数学授業では関数電卓が使われている(カシオ)



■表面処理インド第2工場

ワールドエッティング

ワールドエッティングは、樹脂金型表面のシボ加工をアジアで強化する。インドで2カ所目の工場をチエンナイで稼働。タイ人技術者の日本での研修も始める。(26面)

11月30日(金)

■三菱重工にも賠償命令-徴用工

韓国最高裁

韓国最高裁は、徴用工として働かされたとする韓国人が三菱重工業に損害賠償を求める2件の訴訟で、1人当たり約800万-1500万円の賠償を命じた控訴審判決を確定。(時事=3面)

■三菱重工「確定判決に反する」

徴用工賠償命令

三菱重工業は、徴用工賠償命令について「日韓請求権協定および日本政府の見解、日本の確定判決に反する。極めて遺憾」とした上で「政府と連絡を取りつつ、適切に対応」。(3面)

■住設一汎用品で東南ア深耕

ドア・窓/ボリュームゾーン

住宅設備各社が、東南アジア戦略を高価格帯から汎用品での需要深耕にシフト。YKK APは住宅団地向け窓の研究。三和HDもドアなどを拡大。ボリュームゾーンに照準。(21面)

12月3日(月)

■井関農機、インド2位と提携

中型トラクター製販

井関農機は、インド農機メーカー2位のトラクターズアンドファームエクイップメントと、インド大陸における井関の製品販売および中型トラクター製造で、技術・業務提携。(8面)

12月4日(火)

■シンガポールで潮流発電実証

日本郵船/政府機関など

日本郵船は、子会社MTIとシンガポールで潮流発電の実証に参加する。豪MAKOエナジーや現地政府機関などとの2年の共同研究。海洋再生可能エネルギーの商用化の可能性を探る。(14面)

12月5日(水)

■SUS、タイで新設・拡張

FA機器向けアルミパーツ

SUSは、FA事業の海外拠点を拡充する。海外主要拠点・タイはFA機器・装置向けアルミニウムパーツの加工・組立工場を新設、拡張。米国現地法人を移転、拡張する。(7面)

12月6日(木)

■フィリピンにLNG